

## 東日本大震災津波からの復興の取組状況

## 1 復興の状況

発災からこれまでの復旧・復興に当たって、国において各分野で手厚い支援策を講じていただいております。被災地の復興は着実に進んでいる。

## 安全の確保

○海岸保全施設や復興道路の整備が着実に進捗



三陸沿岸道路 田野畑道路 (R3. 7 開通)

■海岸保全施設の整備状況

◎整備計画箇所数 142 箇所

完了	127 箇所	整備中
	89%	11%

(R3. 11. 8 現在)

■復興道路供用延長キロ数

◎県内の事業化延長 359km

供用中	334km	事業中
	93%	7%

(R3. 7. 10 現在)

## 暮らしの再建

○災害公営住宅の整備や、公立学校の復旧が完了



盛岡市に整備した災害公営住宅 (R2. 12 完成)

■災害公営住宅整備戸数

◎整備計画戸数 5,833 戸

完成	5,833 戸
	100%

(R2. 12 完了)

■公立学校施設の復旧状況 (沿岸)

◎被災学校数 86 校

工事完了	86 校
	100%

(H30. 12 完了)

## なりわいの再生

○水産業や商工業など事業の再開が進展



陸前高田市の商業施設「アパッセたかた」  
(H29. 4 オープン)

■補助事業による新規登録漁船数

◎計画値 6,693 隻との比較

登録漁船数	6,485 隻
	97%

(H28. 3 現在)

■被災事業所における事業再開の状況 (推計)

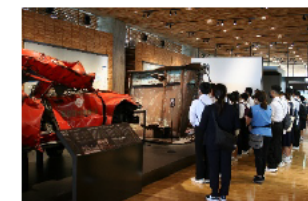
◎対象事業所 2,507 事業所

再開・一部再開	2,147 事業所	未再開 (廃業等)
	86%	14%

(R1. 8 現在)

## 未来のための伝承・発信

○事実・教訓の伝承や復興の姿の発信に向けた取組を実施



東日本大震災津波伝承館での団体見学の様子

■東日本大震災津波伝承館来館者数の状況

令和元年度 (開館(9/22)～3月)	令和2年度		令和3年度 (4月～9月)	合計
	4月～9月	10月～3月		
148,737 人	170,699 人	74,993 人	95,706 人	404,826 人

<参考>令和3年10月31日現在: 425,611 人

## 2 今後の復興の課題・取組方向

### 安全の確保

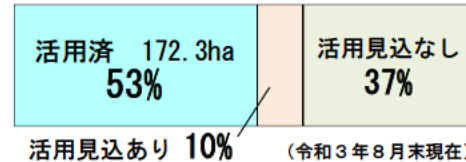
- ① 整備が完了していない海岸保全施設等の社会資本の整備の推進

【参考】R4以降の海岸保全施設の完成予定  
 令和4年度：6箇所  
 令和8年度：1箇所（宮古市 閉伊川水門）

- ② 移転元地の利活用の促進

#### ■移転元地の利活用状況

◎県内の買取対象面積 323.3ha



### 暮らしの再建

- ① 生活面や経済面等の複雑な課題を抱える方に対する専門家や関係機関と連携した支援

#### ■県の相談支援拠点への相談件数の推移

相談内容	平成27年度	令和2年度
住宅	1,492件 (51.3%)	90件 (20.0%)
専門家へ連絡	336件 (11.5%)	208件 (46.1%)
その他	1,076件 (37.2%)	153件 (33.9%)

各分野の専門家へ相談をつなぐ事業の割合が高くなってきている。

- ② 被災者に寄り添った心身両面での継続的なケア

#### ■県こころのケアセンターにおける相談件数の推移

平成30年度	7,397件
令和元年度	7,611件
令和2年度	5,353件

コロナ禍で外出を減らす方が多い中でも一定の相談がある。

- ③ 新たなコミュニティの形成とその後の自立的な活動の確立に向けた支援

■災害公営住宅のコミュニティと生活に関するアンケート調査結果（大船渡市・岩手大学）  
 ◎困ったときに相談できる人や信頼できる人が公営住宅や地域にいるか



### なりわいの再生

- ① 主要魚種の水揚げ量の減少対策  
 ・秋サケの資源回復  
 ・増加している資源の有効利用  
 ・新たな漁業・養殖業の導入

#### ■主要魚種の漁獲量・水揚量

	震災前 a	令和2年 b	b/a
サケ	25,053t	1,734t	6.9%
サンマ	52,241t	7,527t	14.4%
スルメイカ	18,547t	4,271t	23.0%

※サケ（漁獲量）は年度、  
 サンマとスルメイカ（水揚量）は暦年  
 ※「震災前」はH20～H22の平均値

- ② 販路の確保・開拓や従業員の確保・育成等の経営課題を抱える事業者への支援

#### ■グループ補助金交付先アンケート調査

◎主な経営課題

販路の確保・開拓	28.8%
従業員の確保・育成	19.9%
資金繰り	15.3%
経営人材の確保・育成	12.4%
原材料・資材・仕入れ等価格の高騰	9.8%

出典：「グループ補助金交付先アンケート調査」（東北経済産業局、令和2年6月実施）の岩手県分（934事業者回答）の集計結果から作成

- ③ 復興ツーリズムやフードツーリズムなど三陸地域固有の資源を活用した観光振興

#### ■三陸地域（沿岸13市町村）の観光入込客数

平成22年	7,485,540人回
令和元年	7,056,712人回
令和2年 （対前年増減率）	4,477,779人回 （▲36.5%）

### 未来のための伝承・発信

- ① 国内外の防災力向上に貢献するための教訓の伝承や、支援への感謝・復興の姿の発信

#### ■東日本大震災津波伝承館の団体利用・予約状況

	令和2年度 （年間利用実績）		令和3年度 （9月末締結・12月末時点）	
	件数	人数	件数	人数
教育	243	10,060	276	13,760
観光	210	4,359	313	3,168
その他	276	2,770	144	2,127
合計	729	17,189	733	19,055

教育旅行での利用が好調

### 3【提言・要望】東日本大震災津波からの更なる復興に向けて

#### (1) 復興の推進に必要な予算の確保

- ・ 令和4年度以降の予算の確実な措置
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響で収入が落ち込む事業者への支援

#### (2) 被災者の生活再建に対する支援

- ・ 被災者支援総合交付金等による被災者の生活再建に向けた支援（いわて被災者支援センターの運営等）、こころのケアやコミュニティ形成支援の継続

#### (3) なりわいの再生に対する支援

- ・ 被災事業者への支援策の継続（資金繰り支援、販路拡大、生産性向上、労働力確保等）
- ・ 主要魚種の不漁に苦しむ水産業への支援
- ・ 被災跡地の産業利用への支援
- ・ 福島第一原子力発電所ALPS処理水の処分に関する丁寧な説明と慎重な対応

#### (4) 東北全体の再生モデルとなる国際リニアコライダー（ILC）の実現